

## 令和3年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

- 令和3年度から5年かけて小学校35人以下学級を実現。令和3年度は小学校2年生の35人以下学級を実現するための教職員定数を措置
- 大学の教育研究の質の向上に向けた実効性のある配分を強化し、大学改革を推進
- 科学技術振興費については、研究力の強化と重点分野への戦略的配分を推進

※内容や計数は精査中であり、今後、変更が生じる場合がある。

	令和2年度	令和3年度	差額 (伸び率)
文教及び科学振興費	5兆3,912億円	5兆3,969億円	+57億円 (+0.1%)
うち、文教関係費	4兆346億円	4兆296億円	▲50億円 (▲0.1%)
うち、科学技術振興費	1兆3,565億円	1兆3,673億円	+108億円 (+0.8%)
(参考)文部科学省予算	5兆3,060億円	5兆2,980億円	▲80億円 (▲0.2%)

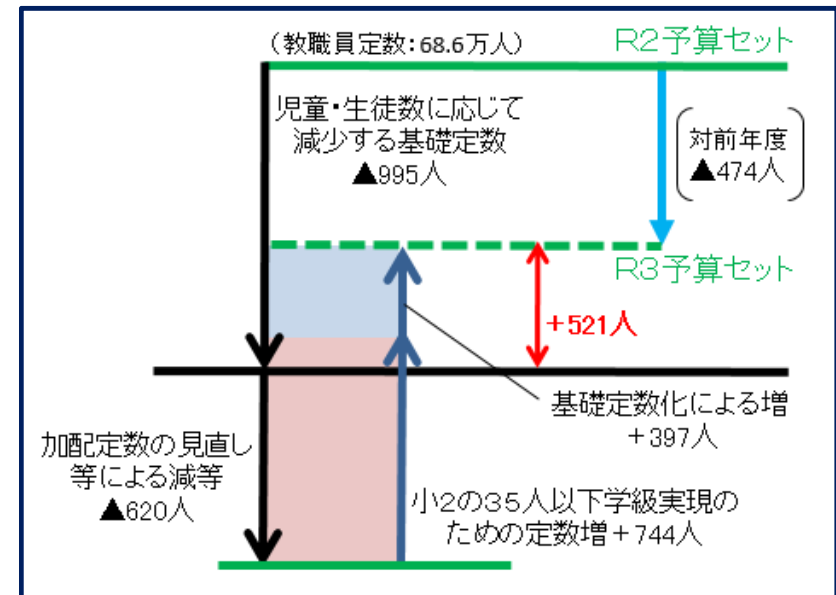
※令和2年度は「臨時・特別の措置」を除く

# 令和3年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

## 義務教育費国庫負担金 [15,164億円](▲58億円)

- 小学校35人以下学級を令和3年度から5年かけて実現するため、合計13,574人の定数改善を措置するとともに、加配定数の一部を含む合理化減等(12,580人)を活用
- 少子化を反映した自然減(前年度比▲995人)を起点
  - ① 小学校2年生を35人以下学級とし、加配措置から基礎定数になることによる増分(+744人)
  - ② 加配定数の見直し等による減等(▲620人)
  - ③ 平成29年法改正による通級指導等の基礎定数化(+397人)
- 上記に加え、部活動指導員やスクールカウンセラー等の外部人材の配置を促進

## 教職員定数の増減イメージ



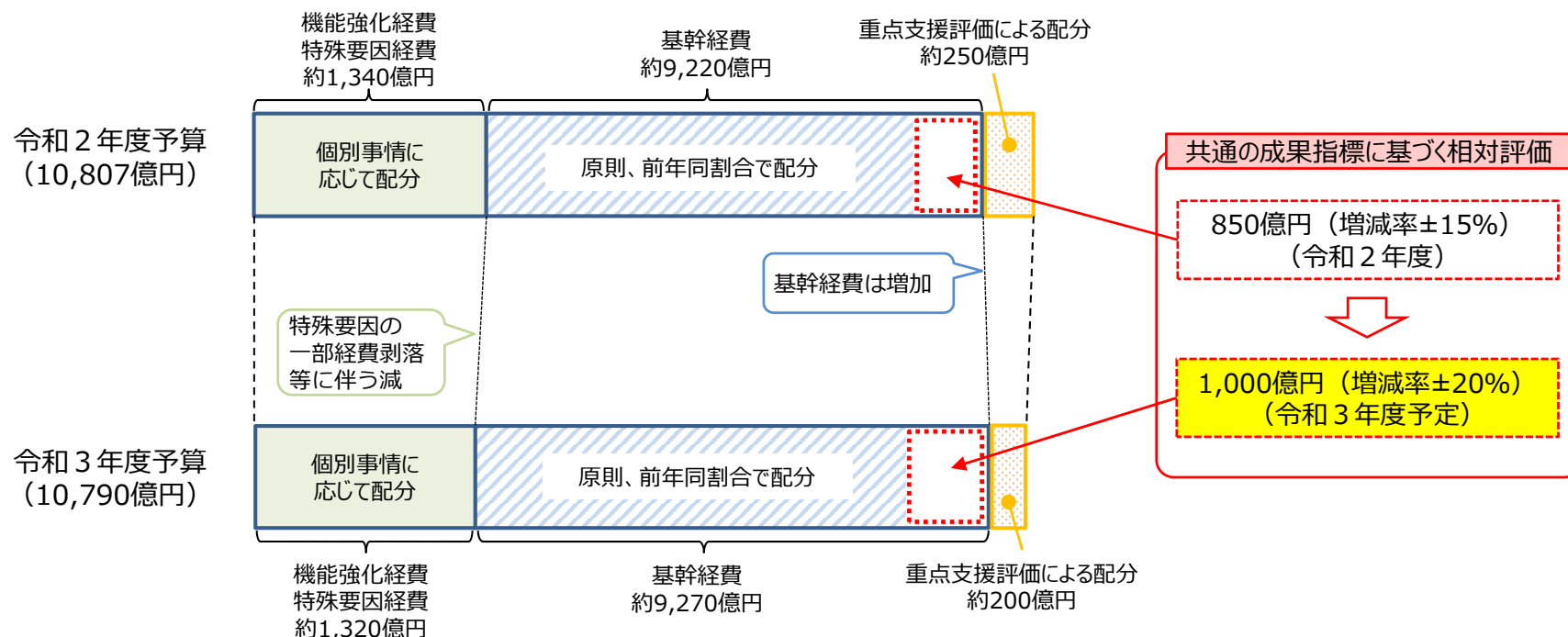
## 教育のデジタル化

- 学習者用デジタル教科書普及促進事業[22億円](+22億円)  
児童生徒の学びの充実に資するよう、小・中学校等を対象としてデジタル教科書を提供し普及促進を図る
- オンライン学習システム(CBTシステム)の全国展開[7億円](+5億円)  
緊急時における学びの保障の観点から、タブレット等を用いて学校・家庭において学習等ができるオンライン学習システムを希望する全国の小・中・高校等において活用できるようにする

# 令和3年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

## 国立大学法人運営費交付金[10,790億円](▲16億円)

- 国立大学への運営費交付金について、教育・研究の質を高めるため、令和元年度に導入された「共通の成果指標に基づく相対評価」を更に強化・拡充
- 具体的には、成果指標による配分基礎額(令和2年度:850億円)を増額し、配分基礎額に対する増減率(令和2年度:±15%)を拡大



- 令和2年度まで措置していた特殊要因経費の一部(用地一括購入長期借入金債務償還経費)が剥落する一方、教育研究の充実を図るため、基幹経費などを拡充

## 令和3年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

科学技術予算(科学技術・学術政策局、研究振興局、研究開発局) [9,768億円](+6億円)

### イノベーション推進のための研究力の強化

- 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業 [23億円](新規)
  - 博士課程学生の処遇向上とキャリアパスの確保を一体として実施する大学の取組への補助により、将来を担う研究人材の育成を推進
- 科学研究費助成事業(科研費) [2,377億円](+3億円)
- 戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出) [428億円](+10億円)

### スパコン・量子・マテリアルなど重点分野への戦略的配分

- スパコン「富岳」の運用等 [153億円](+28億円)
  - 「富岳」の計算資源の全面的な活用とアプリ開発等により、コロナ対策を含む様々な成果を創出
- 量子技術に対する研究開発の強化(光・量子飛躍旗艦プログラム(Q-LEAP)) [35億円](+3億円)
- マテリアルDXプラットフォーム構想実現 [34億円](+9億円)

### 基幹プロジェクトの推進

- 宇宙・航空分野の研究開発の推進[1,576億円](+1億円)
  - アルテミス計画に向けた研究開発等
  - H3ロケットや次世代人工衛星の開発

## 令和3年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

### スポーツ関係予算 [354億円](+3億円)

- 競技力向上事業 [103億円](+3億円)
  - － オリンピック・パラリンピック東京大会及び北京大会に向けた選手強化活動の実施、次世代アスリートの発掘・育成 等
- ハイパフォーマンス・サポート事業[21億円](▲1億円)
  - － 東京大会及び北京大会において、アスリート等が最終準備を行うためのサポート拠点の設置 等

### 文化芸術関係予算 [1,075億円](+7億円)

- 文化芸術による創造性豊かな子供の育成[71億円](+4億円)
  - － 小・中学校等において、実演芸術の巡回公演等を行い、文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供 等
- 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業[19億円](+4億円)
  - － 博物館等の文化施設の機能強化に資する事業や、文化クラスターの形成等に資する事業を支援